

ぼくらは、映画づくりで震災の心の傷と向き合った！
痛みや傷を乗り越える…そのために大事なことは誇りを持つことなんだ！

ぼくらの誇り

—心の傷とどう向き合うか—



家族を失い、普段の生活を失う悲しさ、苦しさ…。
いじめる側にも、いじめられた側にも生まれる心の傷…。
虐待をした者にも、虐待された者にも、残される深い心の傷…。
その傷を乗り越えるために、ぼくらにできることはなんだろう？
ぼくらはそれを被災地の子どもたちの姿から学んだんだ！

上映時間20分 [C#7499]
DVD 本体価格 66,000円(税抜)



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

ぼくらの誇り

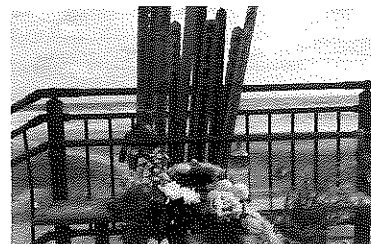
—心の傷とどう向き合うか—

企画 意図

いま、いじめ、家庭内暴力、虐待など、子どもたちの心に深い傷を残す事案が続いています。子どもたちはそれらとどう向き合い、乗り越えていけばいいのか…。ある被災した地域の小学校の取り組みが生んだ、子どもたちの心の回復、そして地域への誇り。その姿を通じて、同世代の子どもたちがいじめ、虐待といった問題に必要な「生きる力」について語り合います。

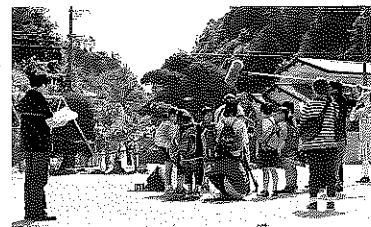
内容

福島県いわき市立豊間小学校。そこは、豊間・沼ノ内・薄磯の3地区の子どもたちが通う小学校です。2011年3月11日、この海岸を巨大津波が襲いました。福島県で最大の死傷者を出した地域です。被災から1年後、小学校は再開しましたが、地域の大半が失われ、地域を離れた子どももいます。



仮設住宅や借り上げ住宅でのつらい生活と、津波で家族・親族・地域・家屋を失った悲しみは、子どもたちの心に深い傷と影を残しました。

心のケアのためには、なによりも子どもたちの当たり前の日常を回復することだ…水谷大校長先生の願いは、総合学習の中のキャリア学習のひとつとして子どもたちに映画づくりを体験させることでした。



映画制作を通じて、大人たちの仕事にふれ、教師・保護者・地域の高齢者・復興協議会の人々の見守りとサポートによって、児童たちは、自分の地域への誇り、そして自分自身への誇りをよみがえらせました。そして、自分が抱えている心の傷を見つめ始めたのです。

いじめや虐待といった子どもたち自身にふりかかる心の傷。それを自分たちはどうとらえ、乗り越えていけばいいのか。豊間小学校の映画学校の子どもの姿から、同世代の小中学生が自分たちに求められる「生きる力」とは何かを話し合います。

監督・脚本 秀嶋賢人(<https://www.facebook.com/yoshihito.hideshow>)
制作委員会 (有)サン映像企画・ウェルリンク(株)・(有)フォア・ザ・ワン・プロジェクト
制作協力 NPO 法人 Social Net Proect MOVE・いわき市教育委員会・いわき市立豊間小学校
企画・制作 (有)フォア・ザ・ワン・プロジェクト (<http://www.hideshow.co.jp>)

2014年作品

p.

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区橋本町5-2 〒730-0015 ☎082-511-2066
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……